

# 失語症向け 意思疎通支援者養成研修

2021.1

## 令和2年度 講習会を行いました

令和2年8月より、ついに「失語症者向け意思疎通支援者養成研修」が始まりました。しかし、受講人数の制限・受講者同士の私語を控えるなど新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けたものとなりました。更に、身体介助の講義・実習も中止せざる負えない状況となり、今年度は9時間の座学のみを行い、残りの講義3時間とその他実習すべてを、来年度に持ち越すことになりました。とても残念ではありましたが、やむを得ずそのような判断となりました。

そんな中ではありましたが、13名の受講者の皆さんは、とても熱心に聴講されていました。失語症をお持ちの方を支援して下さる皆さんの熱い思いに、運営する責任の重さを感じました。来年度に向けて、更に気を引き締めて準備していきたいと思えます。



開講式の様子



受講中の様子

## 失語症友の会 ひだまりの会での様子

本来であれば今年度の実習先だった「失語症友の会 ひだまりの会」さんにはご厚意で、毎月開催されている定例会への今年度の受講者の方々のボランティア参加をお引き受けいただきました（9～11月：各5名）。

参加された方々は研修の座学で学んだことを思い出しながら、文字や絵、時にはスマートフォンを利用しながら失語症をお持ちの当事者の方々の会話の仕方を楽しみながら学ばせていただくことができました。

当事者・家族の皆様、スタッフの皆様、貴重な機会をご提供くださり、

ありがとうございました。  
今後ともよろしくお願ひいたします。



## 令和2年度 意思疎通支援者 指導者養成研修

今年度の研修は新型コロナウイルス対策として、WEBでのリモート開催になりました。そのため本来であれば参加者や講師が実際の指導場面を想定したシミュレーションやグループでの、直接的な、やり取り等は行えませんでした。しかしWEBならではの質問の気軽さから最終的には活発な研修となりました。これまでの臨床経験と今回の研修で学んだ事を活かして、来年度以降の養成講座に望みたいと思えます。

## あしがき

今年度は支援者さんを登録できなくて本当に残念です。来年度は、たくさんの支援者さんを登録できるように、



みなさんと一緒に頑張っていきたいと心から思います。

宮城県言語聴覚士会